

カフカの『変身』を精読する レジュメ

- なぜ、グレゴールは、虫になったのに会社に行こうとするのか？
- なぜ、部長（支配人）は、グレゴールの様子を見にきたのか？
- なぜ、グレゴールの妹は、虫になったザムザを世話したのか？
- なぜ、妹は母親がグレゴールの部屋を勝手に掃除したら烈火のごとく怒ったのか？
- なぜ、父親は、グレゴールに林檎を投げつけたのか？
- 母親は、なぜ父親が、グレゴールにとどめを刺すのを止めたのか？
- なぜ、家族は、居間へのドアを開けたのか？それは虫グレゴールを受け入れたのか？
- グレゴールが、虫になったというのは、何を意味しているのか？
- グレゴールは、虫になった後、何のために生きていたのか？
- グレゴールは、なぜ死んだのか？
- グレゴールの家族は、グレゴールに理性があると思っているのか？
- 下宿の三人組は、家族にどういう影響を与えたのか？
- 新しいお手伝いは、なぜ解雇されたのか？
- グレゴールが、死んだことで家族の心境はどうか変わったのか？
- カフカが『変身』で、描いたものは何だったのか？
- カフカの描いた不条理とはなにか？

グレゴール・ザムザのプロフィール

商科大学を出たあと、軍隊を退役して、5年前に、両親・妹と暮らし始めた。

父親の、事業失敗の借金を、肩代わりしている。

そのために実家に返ってきた。

借金返済には5・6年かかる。

勤め先の「生地卸問屋」の社長に借金がある。

グレゴールは、一店員から、歩合制のセールスマンになった。

結構優秀で、たくさん売上を上げたことがある。

ただいまは、不調で、売掛金の未回収金がある。

唯一の趣味は、鋸細工。

妹を音楽学校に進学させたいと願っている。

肺が弱い、走るのが苦手。

カウンターにいる女の子に不器用に求婚したことがある。

ユダヤ人である。

虫になったグレゴールの変化

足が幾つもある。

ネバネバした粘液が出ている。

天井や壁をはい回れる。

視力が著しく落ちる。

新鮮な食べ物を受け付けなくなる。

寝椅子の下にいる事が多い。

家族の変化

家具を出して部屋の模様替えをした。

父親は、銀行で小間使いをしはじめた。元の立派な親父に戻った。

母親は下着の針仕事をはじめた。

妹は、売り子になった。

妹は忙しくなったので、グレゴールの世話がいかげんになった。

父親が一家の中心の立場に戻った。

下宿人を置いたので、グレゴールの部屋が物置になった。